

野口 遵 *Shitagau Noguchi*
研究助成金の募集

2021



2021年度(令和3年度)

野口遵研究助成金応募要項

公益財団法人 野口研究所

1 助成の趣旨

独創的かつチャレンジングな若手研究者の独立した研究を助成します。応募課題分野で、産業応用までには課題も多く短期的な産業有用性は見えにくいものであっても、ロジックがしっかりしていて、実現できた場合の学術性や発展性が強く期待されるものの孵化をお手伝いすることが狙いです。

2 応募課題

課題1 ライフサイエンスの進展に寄与する研究
疾患バイオロジーの探究、健康・医療に関する技術開発(医薬、診断、医用材料、医療機器など)、微生物・動植物を含めた生物機能解明、それを利用した産業応用に関する研究など

課題2 エネルギー・資源・環境の革新に寄与する新材料や新プロセスに関する研究
持続可能な地球環境・人類社会を実現するためのカーボンニュートラル推進、省・創エネルギー、再生可能エネルギー利用、およびエコシステムのための新素材開発、新プロセス開発、新分析・解析法など(電子材料や電子デバイスなども含む)

選考委員長からのメッセージ

本助成制度は、その趣旨に書かれているように「独創的かつチャレンジングな若手研究者の独立した研究」を助成している。世の中の研究資金が、見通しのある短期的な実用化研究に傾きがちであり、研究者が自発的・内発的なブレークスルーに挑戦する基礎研究のすそ野がなくなることが危惧されている。このような環境の中で、本助成を通して、将来性ある若手研究者が魅力的・挑戦的な研究を孵化、発展することを支援したい。

3 応募要件

- ① 国内の大学・大学等共同利用機関・高等専門学校に勤務する研究者(常勤でなくても応募可能)。
- ② 39歳以下(1981年11月1日以降に出生)であること。
- ③ 応募に当たり所属長の推薦が必要です。

4 研究助成金の額

1件につき原則220万円を贈呈し、所属研究機関へ奨学寄附金として支払います。
研究者が研究に関する経費として使用するのであれば用途は限定しません。
所属機関の管理費(オーバーヘッド)に関しては免除をお願いしています。
採択件数は10~15件。

5 応募期間

2021年9月1日(水)~2021年11月1日(月) 15時00分

6 応募手続

- ・応募に必要な書類の様式は、野口研究所ウェブサイトから提出書類の様式をダウンロードしてください。いずれかの応募課題およびキーワード表より2～5個を選び研究助成金申請書を作成した後、所属長の推薦を受けてください。
- ・応募は野口研究所ウェブサイトの応募ページからのみ受け付けます。
(応募にあたっては、当該ページでID登録をおこない手続きを進めてください。)
- ・研究助成金申請書および添付書類は電子ファイル(PDFファイル(各5MB未満))にして、当該応募ページの指定箇所に添付してください。(押印等がある原紙を送って頂く必要はありません。)
- ・研究テーマ名は、サブタイトルも含め全角40文字以内でお願いします。
- ・応募期間中は、自ら応募ページから修正、提出書類の差し替え等が可能です。締切日後の修正については一切受け付けません。

【提出書類】

① 研究助成金申請書

② 添付書類

- a) 本研究分野の研究状況および申請者のこれまでの研究経緯等
- b) 本研究の目的および要旨
- c) 研究計画の概要(図表なども含め2枚以内)
- d) 実質的に同一の研究テーマで他の助成機関への申請状況
(採択された場合、他財団助成と重複した助成受給はご遠慮願います。)
- e) 申請者の学歴および職歴
- f) 申請者の研究業績
- g) 代表的な論文1報(審査参考論文)

7 選考方法

学識経験者による選考委員会で選考します。なお、選考は研究の独創性、実現できた時の学術性・発展性、ゴールまでのロジックの観点から行います。

8 助成金の贈呈時期

2022年3月15日(火)に開催予定の贈呈式に出席をお願いします。2022年4月末日に振込予定です。

9 助成による成果の報告および発表

- ① 研究期間は2022年4月～2023年3月です。2023年12月末日までに研究成果報告書(A4で4枚以内)および要旨(150字から200字)を提出いただきます。
- ② 研究成果報告書は野口研究所の刊行物、ウェブサイト等で一般に公開されることがあります。なお、成果の知的財産権について野口研究所は関与いたしません。
- ③ 報告書提出後、成果報告会の実施を予定しています。

10 その他

- ① 応募された個人情報法に則り適切に取り扱います。提出された助成金申請書は選考審査のみに使用します。なお、採択者の氏名、所属(職位を含む)、研究テーマ名は公開します。
- ② 採否決定理由に関する問い合わせには応じられません。
- ③ 推薦者の欄は推薦所属長(学部長、研究科長などの相当職)の署名または公印をお願いします。

11 野口遵賞

野口遵研究助成後に顕著な功績があり、継続的な発展が期待できる研究を推進する、高いポテンシャルのある研究者を毎年1名選定して「野口遵賞」を贈呈します。副賞として500万円を大学等所属研究機関へ奨学寄付金として支給いたします。2021年度は2017年度および2018年度の助成者の中から選考いたします。今年度助成者が選考対象になるのは2024年度からとなります。該当年度になりましたら助成金事務局から案内しますので、助成後に異動した場合は事務局にご連絡ください。

- ・応募は野口研究所ウェブサイトの応募ページからのみ受け付けます。
(応募にあたっては、当該ページでID登録をおこない手続きを進めてください。)

詳細は研究助成金の応募手続きと同様です。

12 研究助成金申請書問い合わせ先

〒173-0003 東京都板橋区加賀1丁目9番7号

公益財団法人 野口研究所 野口遵研究助成金事務局

tel 03-3961-3255

e-mail josei@noguchi.or.jp

URL <https://www.noguchi.or.jp>



創設者「野口 遵」について

略 歴

- 明治 6 年 **1873** 7月26日金沢市で生まれる。
- 明治29年 **1896** 東京帝国大学電気工学科を卒業。郡山電燈の技師長として赴任。
- 明治31年 **1898** シーメンスの東京支社に入社。この間カーバイドの研究を続ける。
- 明治36年 **1903** 三居沢(仙台市)で我が国最初のカーバイドを生産。
- 明治39年 **1906** 曾木電気を創立。鹿児島県の曾木滝を利用して水力発電を起こす。
- 明治41年 **1908** 日本カーバイド商会を設立し水俣に工場を建設。曾木電気、日本カーバイド商会を合併して社名を日本窒素肥料(現JNC株式会社)と改称し、石灰窒素、硫酸の製造を開始。
- 大正10年 **1921** カザレー(伊)のアンモニア合成の特許を買収して延岡に世界最初のカザレー式アンモニア合成工場を建設。
- 大正11年 **1922** 旭絹織を設立。
- 大正12年 **1923** 延岡工場を新設、硫酸を生産。
- 大正13年 **1924** 朝鮮への進出を決定。
- 大正14年 **1925** 北朝鮮赴戦江で水力発電の開発(20万kW)に着手。続いて長津江(33万kW)、虚川江(34万kW)を完成、鴨緑江本流には水豊発電所(70万kW)を建設。
- 昭和 4 年 **1929** ドイツ・ベンベルグ人絹の特許をもとに日本ベンベルグ絹織(現旭化成株式会社)を設立。
- 昭和16年 **1941** 全財産3,000万円を寄附し、2,500万円で野口研究所を設立。500万円を朝鮮奨学会に寄附。
- 昭和17年 **1942** 勲一等瑞宝章を受章。
- 昭和19年 **1944** 1月15日逝去。享年72歳。
- 野口遵の事業は、旭化成株式会社、JNC株式会社、積水化学工業株式会社等に引き継がれています。



野口研究所とは?

公益財団法人 野口研究所は1941年に、旧日窒コンツェルンの創始者故野口遵が私財を投じて設立した80年以上の歴史をもつ研究所です。設立趣旨は「化学工業の振興を期するため、諸般の研究並びに調査を行うとともに広く重要な研究に対し援助をなし、なお研究者の養成、発明・考案の工業化にも力を注ぐ…」となっております。この精神を尊重しつつ、現在の社会ニーズにこたえるような基礎的研究、研究助成および人材育成を目的として事業を進めています。現在は、糖質科学領域を中心とした研究を行っています。

- ### 野口研究所の歩み
- 昭和16年 **1941** 日本窒素肥料株式会社社長 野口遵が、私財2,500万円を拠出して創立。文部大臣より民法第34条に基づき財団法人設立の許可を受ける。設立年月日 昭和16年2月10日。研究所を横浜、延岡、興南に開設。
- 昭和21年 **1946** 各研究所を東京板橋(現在地)に移転。
- 昭和23年 **1948** 維持会制度を設ける。調査部を東京神田に新設(主として水力資源と森林資源の活用に関する調査を行い昭和30年まで継続)。
- 昭和31年 **1956** 基本財産拡充のため募金(83社より約3億円の賛助を受ける)。
- 昭和37年 **1962** 野口情報センターを開設。
- 昭和44年 **1969** 同情報センターを調査部として発展改組。
- 昭和60年 **1985** 投資有価証券のうち株式を処分し、国債・地方債・金融債・貸付信託等に転換、基本財産および通常財産の拡充を図る。
- 平成 3 年 **1991** 創立50周年。
- 平成 6 年 **1994** 調査部を廃止し、調査事業を縮小。
- 平成21年 **2009** 野口遵研究助成金制度発足。
- 平成22年 **2010** 公益法人に移行し、11月1日付で「公益財団法人野口研究所」に名称変更。
- 令和元年 **2019** 野口遵研究助成金10周年記念講演会を開催。
- 令和 3 年 **2021** 創立80周年。

お問い合わせは
こちらまで

〒173-0003 東京都板橋区加賀1丁目9番7号

公益財団法人 野口研究所 野口遵研究助成金事務局

tel 03-3961-3255 e-mail josei@noguchi.or.jp